|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 解答例 | | | 解説 | |
| １ | 知識アイコン  技能アイコン  知識アイコン  知識アイコン  知識アイコン | ⑴　6.7km/s  ⑵　解説参考  ⑶　23秒  ⑷　震度はある1つの地震による，ある地点での地面のゆれの大きさを示し，マグニチュードはある1つの地震の規模を示す  ⑸　による災害，土砂くずれによる災害 | １ | ⑴　100km伝わるのに15秒かかっている。  　発生時刻（15時10分05秒）  　震源からのが100kmの地点がゆれ始めた時刻（15時10分20秒）  地震波Ａの速さ  　100〔km〕÷15〔s〕＝6.66…≒6.7〔km/s〕である。  ⑵  地震波AがP波（を伝える波）  地震波BがS波（主要動を伝える波）  初期微動時間　P波が到着してからS波が到着するまでの時間    ⑶　初期微動継続時間は，震源からの距離に比例する。100kmで15秒なので，150kmでは約23秒になる。  　　100：15＝150：Ｘ　（式は他にもある）  　　100Ｘ＝15×150  　　Ｘ＝22.5  ⑷  ・震度　地震によるゆれの大きさで0～7までの10階級で表す。  ・マグニチュード　地震のエネルギーの大きさ（地震の規模）を表す。  1つの地震に対してマグニチュードは1つであるのに対し，震度は観測地点によって異なる（震度は震央に近いほど大きくなることが多い）。  ⑸　他にも液状化現象による災害，火災による災害，などがある。 |
| ２ | 技能アイコン  知識アイコン  知識アイコン | ⑴　解説参考  ⑵　大陸プレート：北アメリカ（北米）プレート，海洋プレート：太平洋プレート  ⑶　日本付近では，海洋プレートが大陸プレートの下に沈みこむことで，大陸プレートがゆがみにえられなくなったときにや反発が起こり，地震が起こるから | ２ | 日本付近では，太平洋プレート（海洋プレート）が北アメリカ（北米）プレート（大陸プレート）の下にみこんでおり，プレートの境目で大地震が発生しやすい。 |